

平成26年度(夏) 通所体験教室『あうる』が無事終了しました。

札幌報恩会では、毎年中学校・高校の夏・冬休みを利用して「通所体験教室」を行なっています。中学生、高校生に楽しく通所体験をしていただければと思い、今年の夏も8月6日(水)～8日(金)の3日間で『あうる』を開催しました。どのような活動を行なったのかをご紹介します。

1日目 8月6日(水)

1日目の始まりは「開所式」です。職員と参加者の皆さんがそれぞれ自己紹介をして、3日間の活動がスタートしました。午前の事業所紹介では、写真入りのスタンプラリーカードを持って敷地内を回りました。次の目的地は写真の中にヒントがあります。「わかった！」と頼もしい声が上がリ、駆けて行く姿が見られました。事業所紹介の後には、ゲームを行ないました。皆さんの緊張も少しずつほぐれ、楽しい時間になりました。午後の創作活動では、写真立て作りに取り組みました。まずは、卵の殻を木の棒で砕き粉々にしました。根気のいる作業でしたが、皆さん最後まで頑張りました。そのあと、写真立てのフレームにボンドをつけて、砕いた卵の殻をのせて乾かしました。何度かに分けて殻をのせる方、一気にザザーとのせる方等様々で、個性あふれるカラフルなフレームが出来上がりました。



2日目 8月7日(木)

2日目は、午前がおやつ作り、午後が作業体験とおやつ会食でした。おやつ作りは、チョコバナナパイと紅茶ゼリーに挑戦しました。6グループに分かれて、まずはパイ作りです。生地を広げ、中に具材を入れて丁寧に閉じました。黄身をハケで塗り、美味しく出来上がる様に心を込めて並べました。次は紅茶ゼリー作りです。材料とゼラチンを丁寧に混ぜ合わせました。そして冷やして完成です。おやつは午後の作業体験の後、おいしく頂きました。自分たちで作ったお菓子の味は格別で、「おいしい〜♪」との声が続々と上がっていました。作業体験では、椎茸班、下請班、ワークショップ班、リサイクル班、ラベンダー班、そよ風班に分かれて、利用者の方々と一緒に活動に参加しました。箸の袋入れや椎茸の計量、牛乳パックやペットボトルのリサイクル、ビーズ通しやパズルなど色々な体験をしました。



3日目 8月8日(金)

最終日の3日目は、午前が作業体験、午後は1日目の創作活動の続きで写真立ての仕上げを行ないました。午前の作業体験は、2日目ということで皆さんリラックスして活動に参加されていました。午後の創作活動では、カラフルなフレームにニスを出して固めました。乾かす間に中に入れる写真を思い思いに描きました。素敵な写真立てが完成しました。閉所式では3日間の活動のアルバムと写真立てが一人一人に手渡され、笑顔で活動を終わることが出来ました。



※大変ありがたいことに多くのご家族からご好評を頂き、あうる受付の際には電話が掛かりにくい状況が続ぎ、また定員に達しお断りをする場合が出てしまっております。

受付方法については様々なご意見を頂いておりますが、検討の結果、電話による先着順での受付は公正性を保つことが出来ており、また、どのような方法を用いてもお断りをしなうてはいけな方が出てきてしまうため、今後も電話での受付をしていくという結論になりましたので、ご理解の程よろしくお願いたします。